

# 平成28年度木材利用優良施設の表彰式

平成28年7月27日

主催：木材利用推進中央協議会  
後援：農林水産省

1 審査講評 審査委員長

2 賞状授与 ①農林水産大臣賞  
②林野庁長官賞  
③木材利用推進中央協議会会长賞

3 挨拶 林野庁長官  
受賞者代表

4 受賞施設 農林水産大臣賞 真庭市落合総合センター（岡山県）

林野庁長官賞 ① 健康科学大学看護学部1号館（山梨県） ② 浜松信用金庫於呂支店（静岡県）  
③ 国見町役場（福島県）

木材利用推進中央協議会会长賞  
① 七尾市中心市街地観光交流センター（石川県） ② 木岐聖ヶ丘農林漁業体験施設（徳島県）  
③ 幼保連携型こども園 あがた幼稚園（宮崎県） ④ 南幌町町民プール（北海道）  
⑤ 桜の園（大阪府）

## 平成28年度木材利用優良施設受賞施設の概要

| 賞 区 分           | 施設名及び施主、設計者、施工者  | 施 設 の 概 要   |
|-----------------|--|---|
| 農林水産大臣賞<br>(1点) | 真庭市落合総合センター<br><br>施主:真庭市<br>設計者:㈱東畠建築事務所<br>施工者:梶岡建設㈱・㈱酒井工務店・㈱森本組JV<br><br>(延べ床面積 4,220.00m <sup>2</sup> )<br><br>主要樹種 ヒノキ          | 庁舎の柱、梁には地元産ヒノキ集成材を使用しLSB構法によりロングスパンを実現している。<br>建物は、エンジニアリングウッドと一般製材の特質を活かすよう組み合わせている。中央ロビーは繊細な木のルーバーによって構成された2層吹き抜けとなっていて、建物の内部を一層引ききたせている。<br>メインファサードには地元産のヒノキの木製窓枠が用いられ、一般製材を4本束ねた列柱によって支えられた大庇とのコントラストによって、木造庁舎の良さが際立っている。<br>床面から天井までの広い範囲の木製窓枠によって外の光が室内まで広く届くような構造になっていて、明るく開放的な建物で、周囲の景観とも調和している。 |
| 林野庁長官賞<br>(3点)  | 健康科学大学看護学部1号館<br><br>施主:学校法人富士修紅学院<br>設計者:㈱三宅建築設計事務所<br>施工者:清水建設㈱関東支店<br><br>(延べ床面積 2,456.51m <sup>2</sup> )<br><br>主要樹種 カラマツ、スギ、ヒノキ | 医療に携わる専門職である看護師を養成する大学として、豊かで健全な心身を育む環境をつくることを目指して、日本の気候風土に合った木造で建築されている。<br>柱や筋交いの一部を現しにして、外部及び内部から木構造を意識できる建物で温もりが感じられるものとなっている。2階の大講義室の照明は、天井部に組み込まれた木枠の中の照明器具からやわらかな明かりが手元に届くものとなっている。<br>雨の多い日本の気候に対して庇を深く出すことで、建物を雨から保護し耐久性を高める工夫がなされている。<br>建物は山梨県産のカラマツ、スギ、ヒノキを用いて建設されている。                        |
| 林野庁長官賞          | 浜松信用金庫於呂支店<br><br>施 主:浜松信用金庫<br>設計者:㈱竹下一級建築士事務所<br>施工者:㈱中村組<br><br>(延べ床面積 658.16m <sup>2</sup> )<br><br>主要樹種 スギ、ヒノキ                  | 森林環境保全に配慮し、浜松市の豊かな森の資源・木材を持続可能な形で有意義に活用するため、地域木材を用いて建設した信用金庫の支店である。<br>建設にあたっては、浜松市のサポートを受けながら、施主・設計者・施工者がプロジェクトを組んで取り組んだ全国初の戸建ての信用金庫店舗である。<br>建物の存在が地域にとって、より象徴的となるよう天竜、飛龍といった地域名にちなんだ躍動感を表現するため、屋根にうねりをもたせた特色ある木空間を実現し、意匠と構造の合理性を図った構法となっている。   |

| 賞 区 分                  | 施設名及び施主、設計者、施工者   | 施 設 の 概 要   |
|------------------------|---|---|
| 林野庁長官賞                 | 国見町役場<br>(福島県)<br>施主:国見町<br>設計者:ジェイアール東日本建築設計事務所<br>施工者:㈱安藤・間東北支店<br><br>(延べ床面積 4,839.48m <sup>2</sup> )<br>主要樹種 カラマツ、アカマツ  | 東日本大震災で使用不能となった庁舎に代わって建設された庁舎である。柱・梁に採用している木質ハイブリット集成材を用いて建設された庁舎という公共建築物は、国内初の事例と思われる。<br>構造は木質ハイブリット鋼材内蔵型集成材を使用したS造であるが、内外装に県産材を多く用いて地産地消を実現している。<br>また、外装のルーバーは一部不燃処理が施され、火災時の燃え広がりの防止対策が施されている。           |
| 木材利用推進中央協議会<br>会長賞(5点) | 七尾市中心市街地観光交流センター<br>(石川県)<br>施主:七尾市<br>設計者:渡辺齊建築事務所<br>施工者:展示棟:アオイ建設㈱<br>交流棟:㈱アントール<br><br>(延べ床面積:展示棟: 458.77m <sup>2</sup> )<br>(延べ床面積:交流棟: 296.97m <sup>2</sup> )<br>主要樹種 ヒバ、スギ | 商店街と小丸山城址公園を結ぶ園路の両脇に、伝統的な七尾の町屋をイメージし、木造瓦葺き平屋2棟が建設されている。<br>建物外部には町屋の特徴である板張り、袖壁、格子を設置し、町屋に見られる付属屋としての土蔵が取り入れられている。<br>内部通路には、町屋特有のダイナミックな梁構造など木組みの美しさと広く見せる吹き抜け空間がとられている。<br>使用されている木材はヒバ(能登ヒバ)や七尾産のスギが主体である。 |
| 木材利用推進中央協議会<br>会長賞     | 木岐聖ヶ丘農林漁業体験施設<br>(徳島県)<br>施主:美波町<br>設計者:徳島県木造建築研究会事前復興ワーキング<br>グループ<br>施工者:本田建設(有)<br><br>(延べ床面積 202.00m <sup>2</sup> )<br>主要樹種 スギ  | 美波町は、今後想定される南海トラフ地震の津波では町のほとんどが津波に襲われることが想定されている。<br>この施設の平素の利用は体験交流滞在施設であるが、震災に伴う津波に対しては、避難施設としては勿論、沿岸域での事前復興計画推進に向けての、材料備蓄や簡易で経済的な構法、斜面活用技術等のメッセージや提案を込めた施設であるので、津波が到達しないと想定される山の斜面に建設されている。                |

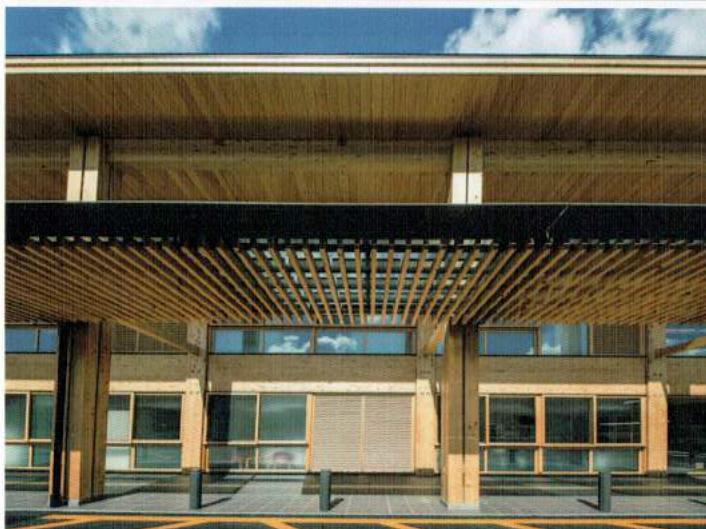
| 賞区分                | 施設名及び施主、設計者、施工者   | 施設の概要  |
|--------------------|---|--|
| 木材利用推進中央協議会<br>会長賞 | 幼保連携認定こども園 あがた幼稚園<br><br>施主:学校法人吾田学園<br>設計者:レモン設計室<br>施工者:有入中建設<br><br>(延べ床面積 223.74m <sup>2</sup> )<br><br>主要樹種 スギ、ヒノキ | 建物は緑豊かな環境と調和するような外観で、周辺の街並みと調和するものとなっている。内部はいたるところで木組みを見せる工夫がなされていて、来客者にも木の温もりが感じられると好評である。<br>園内には保育室、読書室、絵画室、談話室、調理実習室やランチコーナー等があつて、子どもたちと地域住民、保護者、小学校放課後児童クラブ等の交流を図る福祉機能施設ともなっている。<br>園庭には、環境教育のできるビオトープ、ジャングルプール、ツリーハウス、すべり台などがあり、自然環境の中で楽しめる空間が整備されていて、「木育と遊育」というテーマとともに、木組みを魅せる施設でもある。 |
| 木材利用推進中央協議会<br>会長賞 | 南幌町町民プール<br><br>施主:南幌町<br>設計者:株創建社<br>施工者:岩田地崎建設(株)・三建JV<br><br>(延べ床面積 978.78m <sup>2</sup> )<br><br>主要樹種 カラマツ          | プールの構造は、大断面集成材を使用した木質2方向ラーメン構造で、使用している木材は空知産のカラマツを主体にすべて道産材を使用している。<br>柱や梁、腰壁の木材はそのまま見せることにより、プールの利用者が柱や腰壁のカラマツに触れ合い、自然の温もりを体感できる空間となっていて、隣接する既存の農村環境改善センター、町スポーツセンターと渡り廊下で結ばれて、地域住民が利用しやすい、集いやすい総合的コミュニティ施設として利用者の増加が期待されている。   |
| 木材利用推進中央協議会<br>会長賞 | 桜の園<br><br>施主:社会福祉法人路交館<br>設計者:有ものづくり伊東設計工房<br>施工者:太平建設工業(株)<br><br>(延べ床面積 897.10m <sup>2</sup> )<br><br>主要樹種 スギ、ヒノキ    | 施設は、障害者就労支援施設であることから、木造で建設し木のもつ温かみや優しさなどの有意な特徴を活かしたものとしている。<br>一部に使用する燃えしろ設計化粧材以外の木材は、一般流通材のJAS製材品を使用し、基本的には既存技術・工法を採用してコスト・工期等の面で木造建築の優位性を保っている。<br>外装の広範囲には、高温熱処理を施して耐久性を高めたサーモウッドを使用するなど耐久性、耐火性を高めている。<br>一般的には鉄骨が用いられる外部階段についても防腐剤を加圧注入したスギを用いて、木造化を図っている。                               |

# **木材利用優良施設 受賞施設の概要**

**平成28年 7月27日**

**木材利用推進中央協議会**

# 農林水産大臣賞



## 真庭市落合総合センター (岡山県)

施主 真庭市  
設計者 (株)東畠建築事務所  
施工者 梶岡建設(株)・(株)酒井工務店・  
(株)森本組JV



# 林野庁長官賞



健康科学大学看護学部1号館  
(山梨県)

施主 学校法人富士修紅学院  
設計者 (株)三宅建築設計事務所  
施工者 清水建設(株)関東支店



# 林野庁長官賞



## 浜松信用金庫於呂支店 (静岡県)

施主 浜松信用金庫  
設計者 (株)竹下一級建築士事務所  
施工者 (株)中村組



# 林野庁長官賞



## 国見町役場

(福島県)

施主 国見町

設計者 (株)ジェイアール東日本建築設計  
計事務所

施工者 (株)安藤・間東北支店



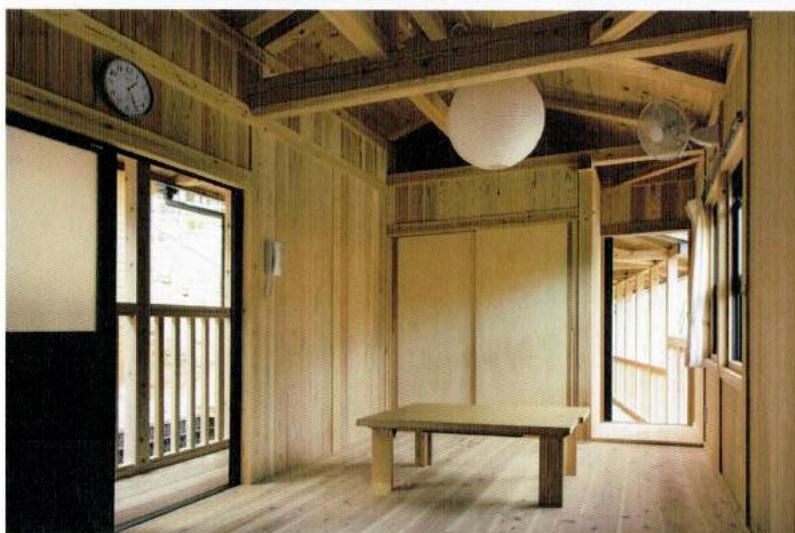
# 木材利用推進中央協議会会长賞

七尾市中心市街地觀光交流センター  
(石川県)

施 主 七尾市  
設計者 渡辺齊建築事務所  
施工者 展示棟:アオイ建設(株)  
交流棟:(株)アントール

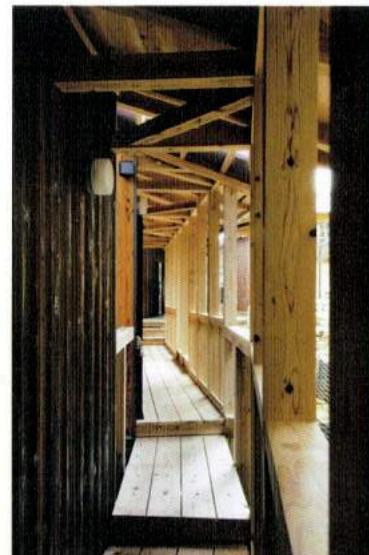


# 木材利用推進中央協議会会长賞

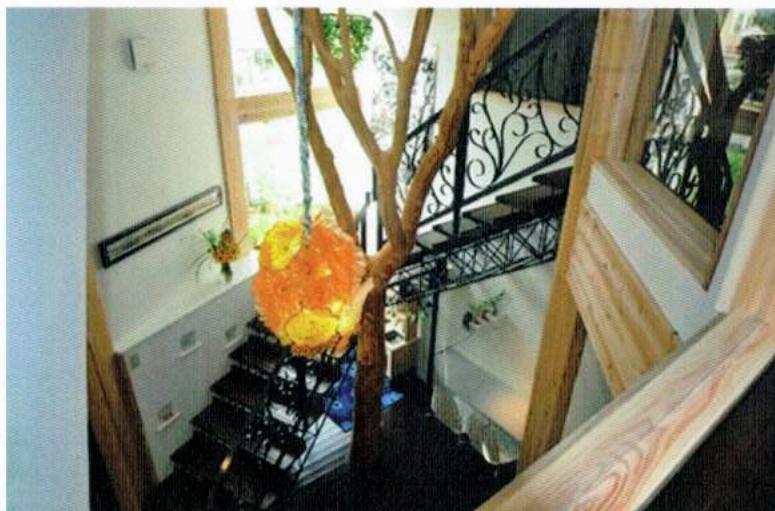
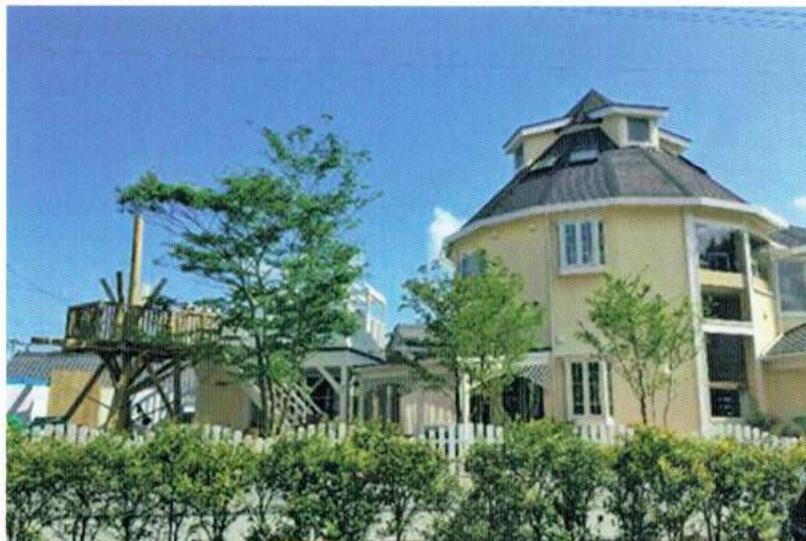


## 木岐聖ヶ丘農林漁業体験施設 (徳島県)

施 主 美波町  
設計者 徳島県木造建築研究会 事前復興  
ワーキンググループ  
施工者 本田建設(有)



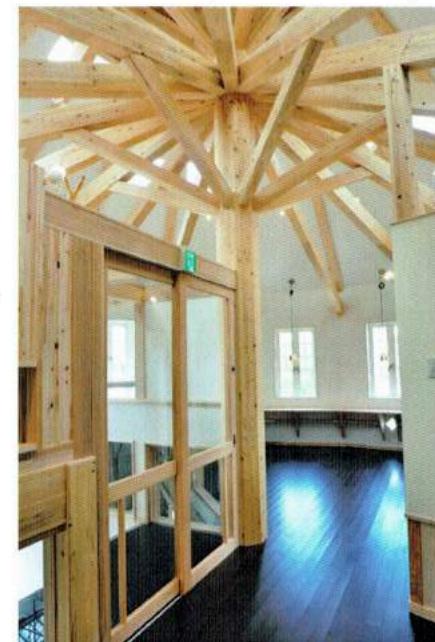
# 木材利用推進中央協議会会长賞



幼保連携型認定こども園  
あがた幼稚園

(宮崎県)

施主 学校法人吾田学園  
設計者 レモン設計室  
施工者 (有)入中建設



# 木材利用推進中央協議会会長賞



## 南幌町町民プール (北海道)

施主 南幌町  
設計者 (株)創建社  
施工者 岩田地崎建設(株)・三建JV



# 木材利用推進中央協議会会长賞

桜の園

(大阪府)

施 主 社会福祉法人路交館  
設計者 (有)ものづくり伊東設計工房  
施工者 太平建設工業(株)

